



森の神様に会いに行こう

森には神様がいらっしゃいます。
数百年、時には千年以上もの
長き時間を、ただじっとそこにいて、
森を、いのちを、守りつづけてくれました。
さあ、みなさん森の神様に
会いに行きましょう。

新城市に「日吉神社の大楠」があります。幹周
70.5m、樹高27m、樹齢800年以上の
新城市指定天然記念物です。幹周では、愛知県
第6位に入る程の大きさと、祠の後に聳え立っ
ています。表側はご覧の通り仮死状態です。言
い伝えでは、村中が大火事に見舞われ、ついに

日吉神社の大楠に燃え移りました。ところが、火事はそれ以上には燃え広がらず、この大楠だけが燃え続け鎮火し、村が丸焼けにならずに済みました。それ以来、この焼け焦げた大楠はご神木として祀られています。後ろにまわると裏側は、枝が7本高く伸びてたくさん葉を付けていました。表側の状態からは考えにくい、元気で太い枝の姿がありました。老木ですが、頑張っている姿を見ているだけで、生きる強さが貰えます。（すぎうら）

[新城市日吉宮 / 腰 日吉神社(鳥原神社)]



【道案内】豊川(豊川IC)から国道151号線(伊那街道)を新城方面に進み、伊那街道を北上します。「野田西」の交差点を右折し県道392号線へ入り、川(豊川)を越え「一鍬田畠中」の交差点を左折します。国道301号線(別所街道)に変わり、そのまま真直ぐに進み、「庭野」の交差点を通過すると、こゝでは県道69号(別所街道)になります。更に真直ぐ進み、「鳥原」の交差点を通過するとまた県道392号線となり、そのまましばらく進んだ右手が日吉神社です。駐車するスペースもあります。

